

# 2018年度 4年次3月(卒業時)学修状況調査 (抜粋版)

## 調査の概要

立教大学では、昨年度の卒業生を対象に「2018年度 4年次3月(卒業時)学修状況調査」を実施しました。集計・分析結果の一部をご紹介します。アンケートにご回答いただいた卒業生のみなさん、ご協力ありがとうございました。立教大学では、このアンケートの結果を、これからの教育の改善に活かしていきます。

実施時期:2019年3月23、25日(卒業式)

調査対象:2018年度学部卒業生

調査方法:卒業生を対象とした全数調査

質問紙によるアンケート方式で実施

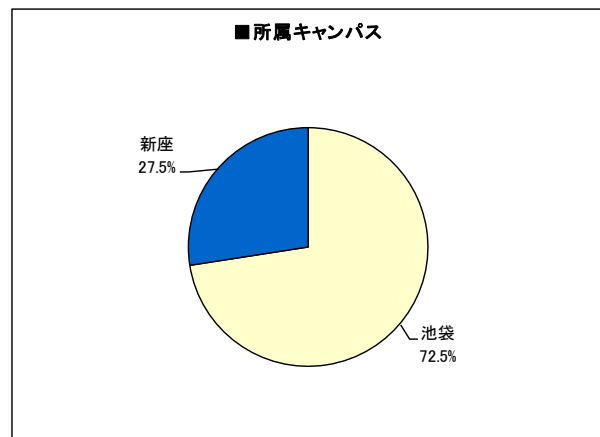
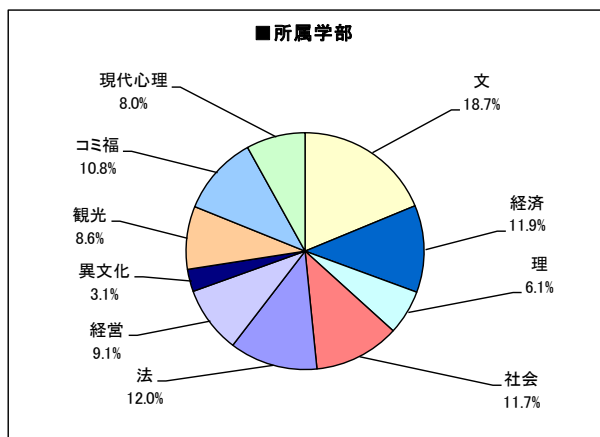
調査目的:

卒業時時点での立教大学での学びや過ごし方について把握し、教務・学生生活関係の情報と合わせて、教育改善のために活用することを目的としています。

## 回答者数と回答率

回答者数: 3,405票 回答率:81.0% (2019年3月卒業生数:4,206人)

キャンパス	学部	対象者数	回答者数	回答率
池袋	文学部	806	638	79.2%
	経済学部	638	405	63.5%
	理学部	234	208	88.9%
	社会学部	477	397	83.2%
	法学部	512	408	79.7%
	経営学部	337	310	92.0%
	異文化コミュニケーション学部	126	104	82.5%
新座	観光学部	371	293	79.0%
	コミュニティ福祉学部	409	369	90.2%
	現代心理学部	296	273	92.2%
合計		4,206	3,405	81.0%



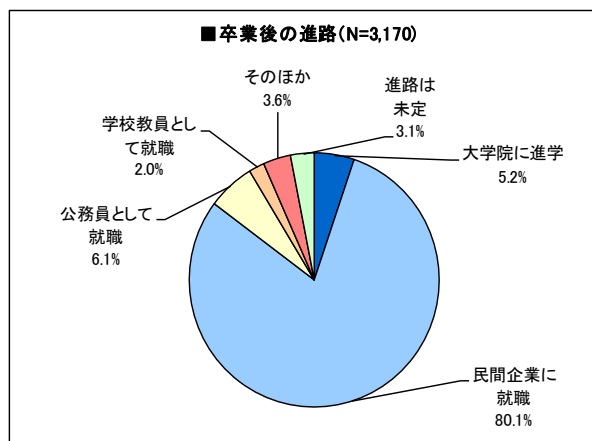
- 回答者の所属キャンパスは「池袋」が72.5%、「新座」が27.5%でした。

## 調査結果(抜粋)

ここでは、本調査の中から満足度および成長実感を中心に調査・分析結果の一部を抜粋してご紹介します。

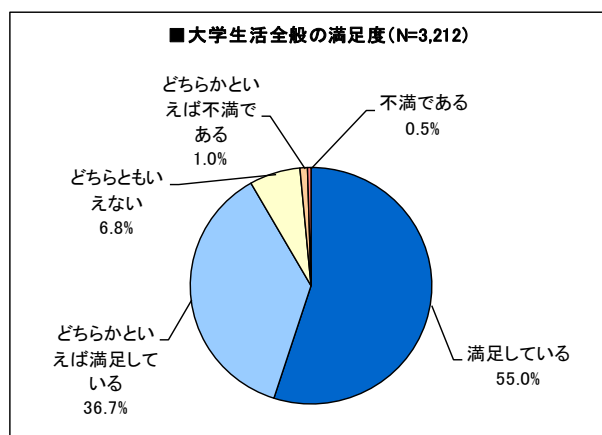
### 卒業後の進路

- 「卒業後の進路」で最も多かったのは「民間企業に就職」であり、80.1%と大多数を占めていました。
- 上記以外では「公務員として就職」が6.1%、「大学院に進学」が5.2%、「学校教員として就職」が2.0%、「そのほか」が3.6%であり、「進路は未定」という回答は3.1%でした。



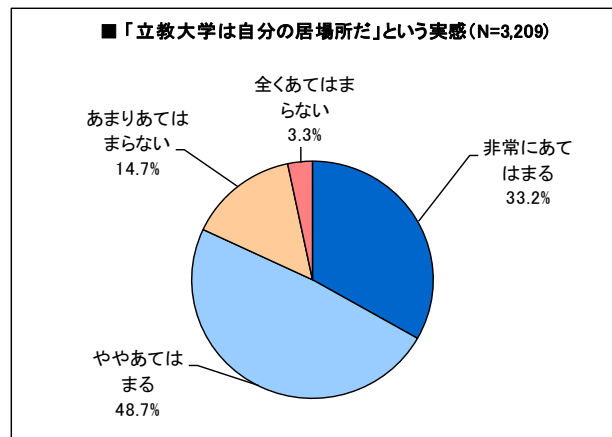
### 大学生生活全般の満足度

- 「あなたは大学生生活全般に満足していますか？」に対しては、「満足している」が55.0%で過半数を占めており、「どちらかといえば満足している」の36.7%を加えると、満足度は91.7%となりました。



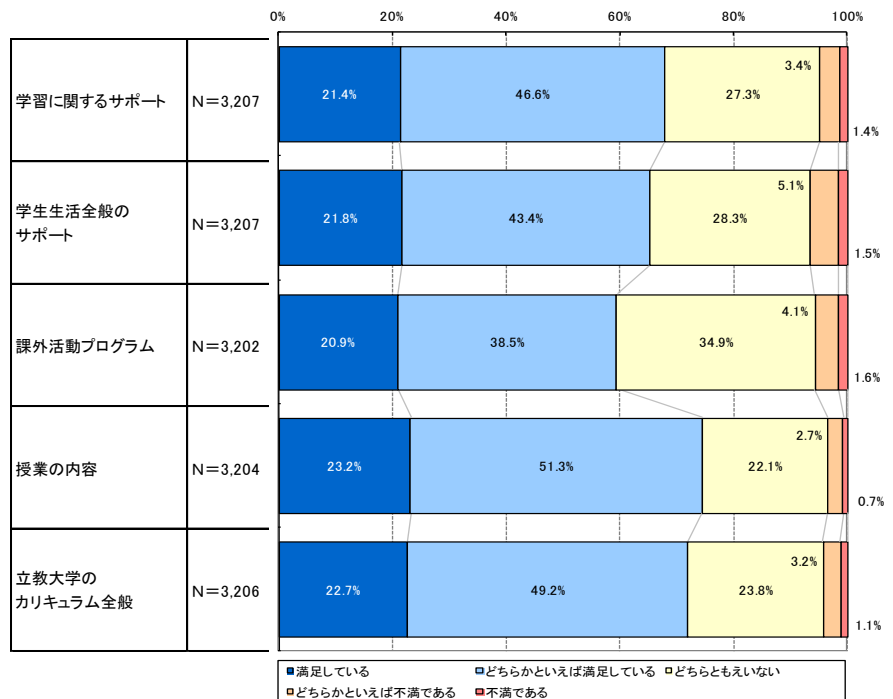
「立教大学は自分の居場所だ」という実感

- 「立教大学は自分の居場所だ」という実感を持っていますか？」に対しては、「非常にあてはまる」が33.2%、「ややあてはまる」が48.7%であり、合計すると81.9%が肯定的な回答となっていました。



立教大学への満足度

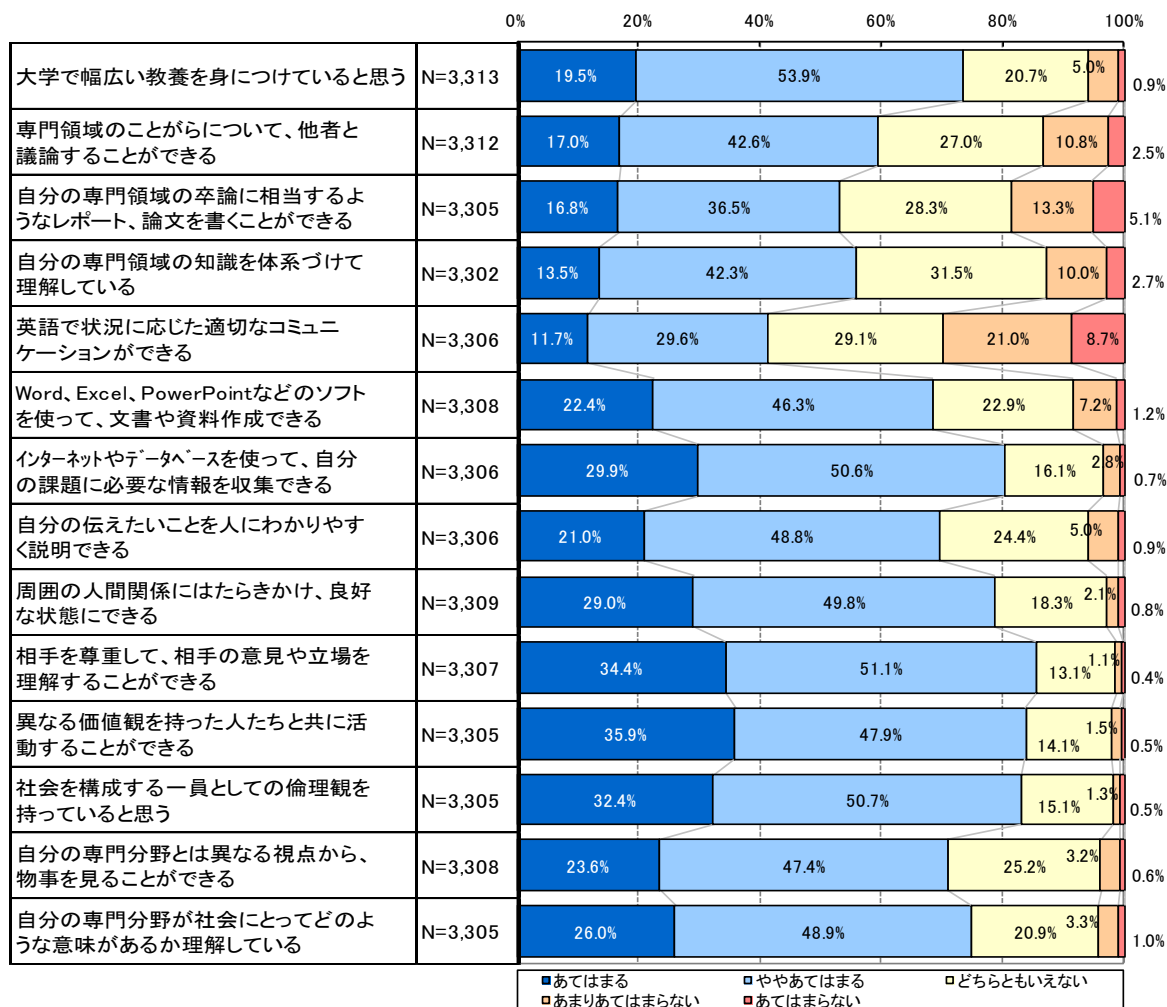
- 肯定的な回答の合計が最も多かったのは「授業の内容」の74.5%でした。次いで、「立教大学のカリキュラム全般」が71.9%、「学習に関するサポート」が68.0%、「学生生活全般のサポート」が65.2%と続いています。
- 5分野の肯定的な回答の合計には差はあるものの、「満足している」は20%から24%でほとんど差がない点も特徴的です。
- 「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計も、5分野共に3%から6%台で差は少なく、立教大学に対する不満は小さいと言えます。



自分自身の能力への評価

- 肯定的な回答の合計が最も多かったのは「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解することができる」の85.5%であり、「異なる価値観を持った人たちと共に活動することができる」が83.8%、「社会を構成する一員としての倫理観を持っていると思う」が83.1%で続いています。

■自分自身の能力への評価



集計・制作: 立教大学 大学教育開発・支援センター 教学IR部会